

みんなで考えよう！
書写指導②（硬筆編）

文字環境の整え方、
ここがポイント

新学期、児童を迎えるにあたり、次の点に留意して準備しましょう。

特に、低学年では文字環境を整えることが大切です。学校で統一して貼るべき掲示物など、基準が決まっている場合には、それに準じて準備しましょう。

机に貼る名札の書き方

児童の机に貼る名札は、フェルトペンを使用して手書きするとよいでしょう。児童にとって自分の名前の文字は、これからの学校生活において最も大切な文字です。書写教科書などの手書き文字を参考に、丁寧に書きましょう。

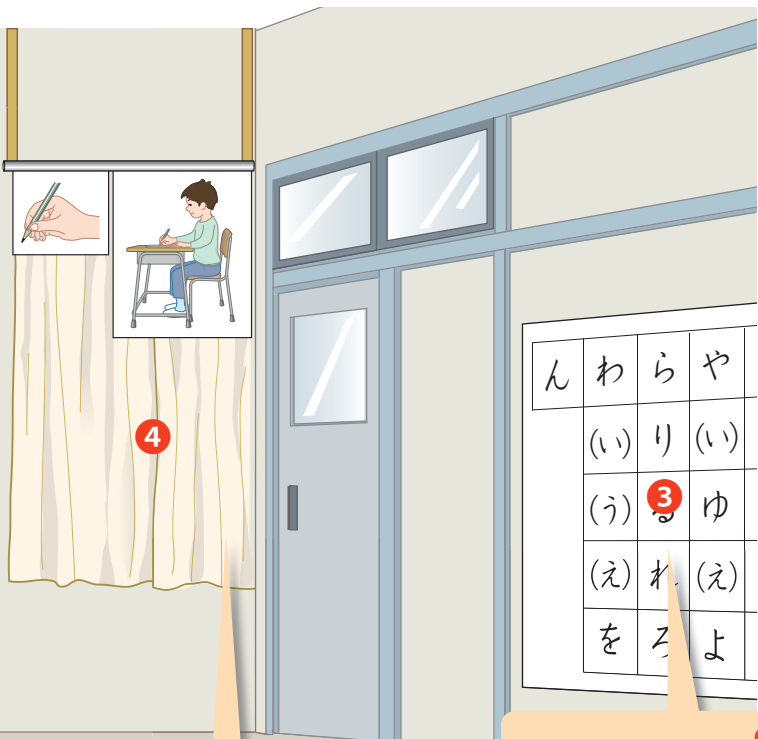
たかのゆうや

3 教室の横面上部、横面・背面掲示板
時間割、週目標、献立表、学校便り、学年便り、学校生活のきまり、五十音図、平仮名（片仮名）、姿勢図など、学習に必要なものを掲示します。何を掲示するのか、学年で話し合ってください。

4 教師用書棚など
無地の淡色のカーテンで目隠しをしましょう。児童の視界に余分なものが入ると、集中力を妨げます。

5 児童の机・椅子
児童の体に合った高さのものを用意しましょう。
児童名の他に、「鉛筆の持ち方図」も貼っておくとよいでしょう。

6 大型テレビなど
教材提示装置（書画カメラ）を常備して、いつでも使えるようにしておけるとよいでしょう（校内のICT設備によります）。
書写学習での評価を行う際、硬筆の小さい文字も大きく映して、学級全体で共有できます。
書写以外でも、ワークシートの記入やノート指導の際、児童が使っているものと同じものを映すことができ、指示がいきわたりやすいです。



1 正面黒板の上
学校ごとに掲示するものが決められていることが多いので、必ず確認しましょう。「学校目標」「学年（学級）目標」「その他」「声のものをさし」「話型」などがあります。

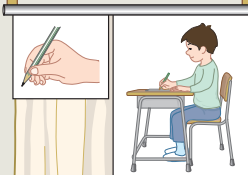
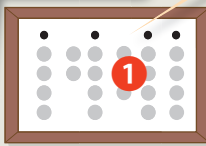
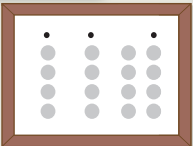
2 黒板
いつもきれいにしておきましょう。水で拭き過ぎると書きにくくなります。黒板消しは二つ以上用意し、一つで文字を消したら、もう一つで仕上げるとききれいになります。暗線入りでない黒板の場合、授業で縦書きをするときは縦に、横書きをするときは横に消すと、消し跡を頼りにしてまっすぐに板書することができます。

自作の掲示物
活字を使用する場合、特に低学年では、教科書体を使用しましょう。かわいい雰囲気ポップ体、ゴシック体を使用すると、子どもが字形や「はらい」「はね」などを間違っ覚えてしまいます。正楷書体は一見よさそうに感じますが、「はね」や字体が異なる文字があるので注意が必要です。

文字例

教科書体	あ	道	来	ら	は	望
明朝体	あ	道	来	ら	は	望
ゴシック体	あ	道	来	ら	は	望
ポップ体	あ	道	来	ら	は	望
正楷書体	あ	道	来	ら	は	望

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5					



ん	わ	ら	や
(い)	り	(い)	
(う)	ゆ		
(え)	れ	(え)	
を	ろ	よ	